

千葉県流域下水道事業経営戦略 【概要版】

●経営戦略策定の趣旨・見直しについて（本編 第1章、第2章参照）

- 千葉県では、生活環境の向上、広域的な水質保全の取組みとして、印旛沼・手賀沼・江戸川左岸の3つの流域下水道事業を実施しています。限られた財源の中で、下水道の未普及人口の解消、施設の老朽化、大規模災害への備えなど、様々な課題を解決しなければなりません。
- 千葉県流域下水道では事業を安定して持続していくため、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を目的として、令和元年度に現行の「千葉県流域下水道事業経営戦略」（計画期間：令和2年度から令和11年度まで）を策定しました。
- 策定から5年が経過したため、PDCAサイクルを回し、計画内容と実績との比較検証や計画内容の見直しを実施しました。
- 今回経営戦略の計画期間は令和7年度から令和16年度までの10年間となります。

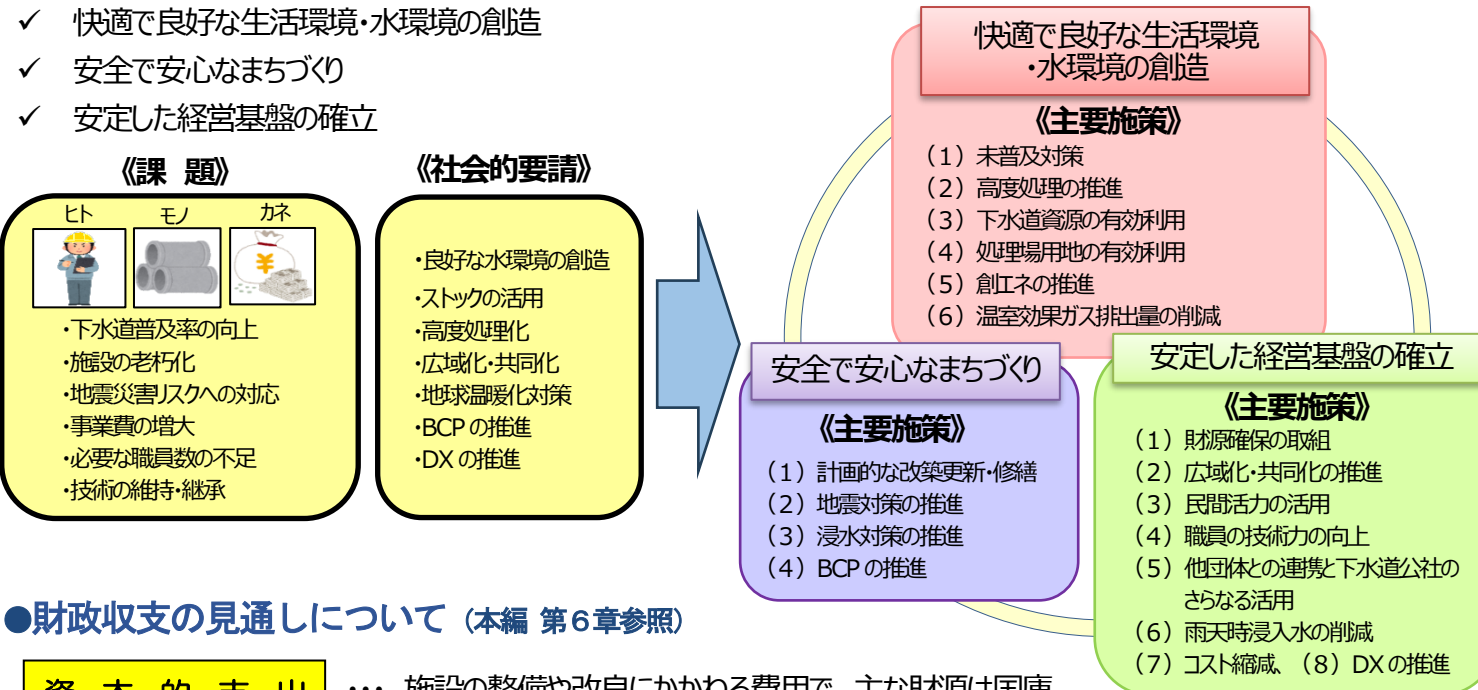
●今後の見通しについて（本編 第3章参照）

- 「全県域污水適正処理構想」（令和 5 年度策定）に基づき処理区域内将来人口を推計し、3 流域の将来流入水量を今後 10 年間に於いて緩やかな増加傾向と予測しました。
- 将来流入水量と既存施設の処理能力より施設規模を見通し、江戸川左岸流域にて処理能力の増強を位置付けました。

●経営方針（本編 第4章参照）及び主要施策（本編 第5章参照）

千葉県流域下水道事業は、課題の解決や下水道事業に求められている社会的要請に対応するため、次の3つの経営方針のもと、各種の主要施策に取り組み、生活環境の持続的な発展を支える安定的で質の高いサービスを提供します。

- ✓ 快適で良好な生活環境・水環境の創造
- ✓ 安全で安心なまちづくり
- ✓ 安定した経営基盤の確立



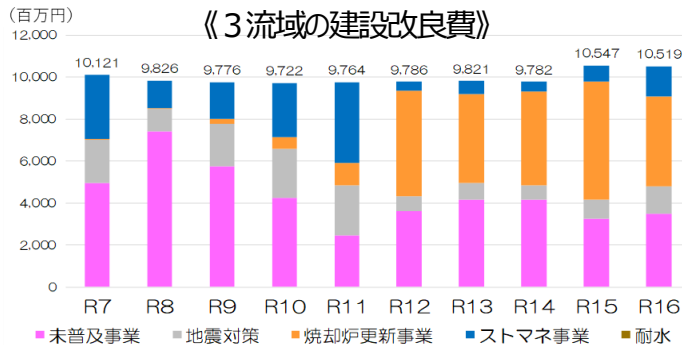
●財政収支の見通しについて（本編 第6章参照）

資 本 的 支 出 … 施設の整備や改良にかかわる費用で、主な財源は国庫補助金、流域関連市町からの建設費負担金及び企業債となります。

- 資本的支出のうち建設改良費は、計画期間内で施策の実施に必要な費用を積み上げ、投資額を平準化しました。
- 3 流域全体で 10 年間に約 997 億円を計上し、年あたり約 97～105 億円としました（現行計画では約 85 億円）。
- 平準化にあたり、整備メニューの中で優先順位を設定しました。

【優先順位】

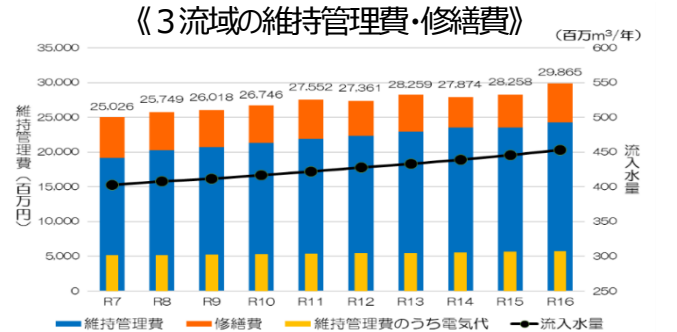
- 1 未普及事業 ⇨ 江戸川第一終末処理場の増設等
- 2 焼却炉更新 ⇨ 花見川及び手賀沼終末処理場の焼却炉の更新
地震対策 ⇨ 簡易処理機能確保等
- 3 ストマネ事業 ⇨ ストックマネジメント計画に基づく改築更新



收益的支出

… 事業の管理・運営にかかる費用で、主な財源は流域関連市町からの維持管理費負担金となります。

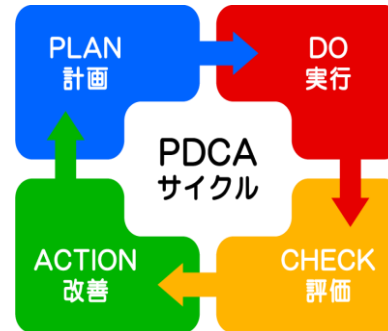
- 収益的支出のうち維持管理費は、民間活力の活用による効率的な維持管理を実施するものとし、流入水量の増加に見合った費用を計上しました。
- また施設の修繕費は、点検・調査結果を踏まえ修繕を計画的に実施するものとし、年間約 44～59 億円を計上しました。
- 維持管理費・修繕費は、3 流域全体で 10 年間に約 2,727 億円を計上しました。



財政収支表（税込）

[illegible]

- 進行管理**（本編 第7章参照）：施策目標・財政目標に基づくモニタリング及び PDCA サイクルによる計画の見直しを行います。
【業績指標と目標値】



関連指標	指標名	単位	R4 現状値	R11 目標値	R16 目標値	望ましい 方向
	経常収支比率	%	100.6	100.0	100.0	100%以上
	流動比率	%	119.6	129.6	131.6	100%以上
	污水处理原価	円	48.9	61.6	62.3	↓
	施設利用率	%	67.7	81.7	87.5	↑
	水洗化率	%	95.9	96.6	97.4	↑

